



校長室から

一流のプロ

校長 久家 彰夫



10月1日、平戸市は市政施行10周年を迎え、文化センターで盛大に記念式典が挙行されました。もちろん、平戸市、生月町、田平町、大島村による平成の合併からです。

10日、10周年記念と銘打って同じ文化センターで開催された「おしゃべり音楽館」で久しぶりに生の音楽を聴きました。迫力あるオーケストラもさることながら、通常の倍の速さに思えるトルコマーチや、懐かしいギター曲「禁じられた遊び」「アルハンブラの思い出」を奏でる小原孝のピアノに「一流のプロ」という言葉を思いました。そしてピアノは独学で身につけたという清水ミチコ。物まねピアノ弾き語りの多彩なレパートリーは会場を圧倒し、テレビで他愛もないおしゃべりをしている人たちの真の実力を見せつけました。会場案内のボランティアに誘っていただいた本校吹奏楽部の生徒たちにも、プロのすごさが焼き付いたものと思います。

長崎新聞に連載されたさだまさしの「ちゃんぽん食べたかっ！」は、バイオリニストを目指して上京した彼の中学から大学までを描いた物語ですが、バイオリンの練習だけでなく、芸大目指して音楽の基礎をしっかりと学び、一方で落語も覚え、文化祭の企画にクラスのリーダーとなる多才な人だったことが分かります。特にハエの話が印象的です。部屋に紛れ込んだ1匹のハエを見て、ハエは留まっているのが普通か、飛んでいるのが普通か、気になったというのです。閉め切った部屋でハエが留まっては追い、留まっては追うこと40分。ついに近づいても逃げなくなったのを見てハエの限界を確認したというものです。一流のバイオリニストの道は挫折したものの、道を変えて成功し長く活躍できているのは、確かな基礎的素養に加えて、彼の持つ積極性、好奇心のなせる業でしょう。

一流のプロのすごさを実感し、その素質や素養に思いを馳せた夕べでした。

オランダ留学生来校

10月19日（月）・20日（火）平戸市の姉妹都市交流事業として、オランダの高校生や引率の先生が平戸高校に来校しました。生徒とともに家庭、情報、福祉、書道、音楽の体験授業を受けました。はじめは少し緊張もありましたが、同じ年頃の高校生ということもあり、打ち解けたようです。本校を笑顔で帰って行きました。2日間を通して、互いの文化を知る貴重な経験となりました。



9月の出席率 96.7%

第2回ジョブガイダンス

10月16日(金) 1・2年生を対象にジョブガイダンスを実施しました。

9月につづき、専門学校等の先生方を講師として招き、様々な分野の職業を紹介、また体験活動を行いました。今回は航空関連、歯科に関する職業、美容の職業、食に関する職業、アニメ・漫画の職業など5つの分野に分かれてましたが、生徒はそれぞれ楽しく積極的に活動していました。今後の進路決定に向け良い経験ができたようです。

航空に関する職業



歯科に関する職業



食に関する職業



理容・美容の職業



アニメ・漫画の職業



平戸高校文化講演会

11月9日(月) 13:50~15:20

平戸高校におきまして、文学界でご活躍の絵本作家、飯野和好先生と直木賞作家、江國香織先生をお招きして文化講演会を開催いたします。是非、ご参加ください。



11月の主な行事

- 6日(金) 心に響く人生の達人セミナー
- 8日(日) 全商珠算・電卓実務検定
- 9日(月) 平戸高校文化講演会
- 11日(水) 公務員模試(2年)
- 13日(金) 人権同和学習
- 20日(金) 考査時間割発表
- 22日(日) 全商ビジネス文書実務検定
- 26日(木) 地域開放講座(音楽)開講式
- 27日(金) 2学期期末考査(~12月2日)
四者面談(~12月2日)